

防災特集 『災害への備え』

◆問合せ 市役所危機管理課 ☎0745-44-3305



大雨等に備えた事前の対策

毎年、6月ごろから10月ごろまでは、集中豪雨や台風などによる洪水や土砂災害が発生しやすい時期です。また、過去2か年度で大雨による気象警報が8回発表されました。

これから大雨などが発生しやすい季節がやってきます。今年も同じような状況になる可能性も十分考えられますので、早めの備えに努めましょう。

1.日頃からの備え

・非常持ち出し品の準備

最低3日分(できれば1週間分)の食料、水、常備薬などを普段からリュックサックなどに入れておき、非常時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。

・自宅や周辺の安全対策

自宅の内外をチェックし、雨戸や瓦、雨どいなどに傷みはないか、排水溝に詰まりはないかなどを確認しましょう。台風発生時には、庭木やカーポートの屋根を補強し、風で飛びそうなものを室内へ移動させましょう。

・ローリングストック

普段から少し多めに食材や日用品を買っておき、使った分を新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。

長期保存が可能なアルファ化米や乾パンなどの非常食に食べ慣れておくことも大切ですが、ローリングストックを上手く活用すれば、いざというときにも日常生活に近い食生活を送ることが期待できます。



2.情報収集

気象情報のチェック

テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて、常に最新の気象情報を確認しましょう。

前もってYahoo!防災速報のアプリをダウンロードしておくことでさまざまな防災情報を受け取れます。

ダウンロードはこちら⇒



避難情報の確認

避難指示などの避難情報は緊急速報メールやYahoo!防災速報、市ホームページ、公式SNS(X、LINE)などでお知らせします。

避難情報の内容を確認して、速やかに避難を開始してください。



停電情報のチェック

停電情報アプリに地域を設定すると、その地域で停電が発生した際にプッシュ通知で情報が届き、復旧予定時刻などが確認できます。

◆問合せ 関西電力送配電

☎0800-777-3081

(通話料無料)

ダウンロードはこちら⇒



3.緊急時の行動

・避難の際の心得

安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

例えば、洪水の場合、浸水深によっては、垂直避難と呼ばれる、「自宅の2階」や「近隣の高い建物」といった高い場所への移動も有効です。土砂災害の危険がある区域では、指定緊急避難場所及び指定避難所だけでなく、安全な親戚・知人宅やホテルなどに避難することも考えましょう。

車が水に浸かると動かなくなり、緊急車両の通行の妨げとなるので、災害時は徒歩での避難が推奨されます。車での避難はなるべくお控えください。

・災害時の連絡方法

家族や近隣住民との連絡手段を確保し、避難時にお互いの安否確認を行いましょう。

